

2017 コンテスト総評

今年もメイクランド施工写真コンテストに数多くの作品をご応募頂きましてありがとうございました。審査員を代表して今年のコンテストの総評を述べさせていただきます。

門まわり部門におきましては街並みを意識して門袖壁などをセットバックさせ、道路境界と壁の間に下草や自然石などを配し、足元を演出すると共に高木やアーチを組み合わせた作品が多くありました。シンボルツリーにヤシなどを入れた作品が多かったのが今年の特徴です。庭まわり部門は洋風は勿論ですが落ち着いた和のテイストの庭も目立ちました。落ち着いた色の自然石で作られた園路やテラスは重厚感や高級感が出るので、建物のグレードに合わせて提案すると良いでしょう。

リフォーム部門は今後益々ニーズが高まることが予想される部門です。単に壊れたところを補修するとか、部分的に綺麗にするだけではなく、お庭全体やファサード全体を思い切ってリフォームすることで、生活スタイルが一変したり建物の見え方も大きく変わるものです。お客様のお困りごとをしっかりとヒヤリングし、感動を与えられるようなリフォームのご提案をすることが出来ればビジネスチャンスも大きく広がることでしょう。

ナイト部門はここ数年で飛躍的に提案のグレードがアップしていることを感じます。今年はナイトシーンだけへのエントリーというよりは昼間のシーンも素晴らしい作品が多く、物件としての完成度が高くなったことを感じます。

アイデア部門は敷地全体の計画というよりは部分的な提案であってもオリジナリティーがあったり、職人さんの施工技術が高い造作ものがあればどんどん応募して頂きたい部門です。今年の優秀賞は自然石で薔薇の花を表現したものでしたが素晴らしいアート作品の様でした。

パブリック部門は集合住宅や公共施設、公園などの作品で景観に馴染んでいたり、引き立てている作品を評価させて頂く部門です。今年の優秀賞はお寺の外周に造った石積みでしたがそのボリュームだけでなく卓越した石積みの技術を高く評価させて頂きました。

そして最後に最優秀賞です。限られたスペースですが存在感のある石積みの壁や、自然石の舗装、地盤を少し掘り込んで造ったサンクンガーデンや三連のフレーム構成、そして植物のバランスまでもよく考えられた作品が選ばれました。

昨年も申し上げましたがこれからのエクステリアはコンクリートと金物だけで作ろうとすると限界があります。もちろん適材適所という通り機能やコストを考えてコンクリートや金物を使うことはあると思いますが、そこに自然素材である石材や植物、ナイトシーンには欠かせない照明を上手にコーディネートする時代になっています。

以上、次回も更に素晴らしい皆様の力作が集まることを期待して総評とさせていただきます。

メイクランド施工写真コンテスト
審査委員長 古橋宜昌